

第9回 IEEJ/APERC 国際エネルギーシンポジウム 開催のご案内
「エネルギー転換への多様な道筋をどう実現するか」
“Complexity of Achieving Energy Transition under Multiple Pathways”

G7 広島サミットにおいて、「各国のさまざまな条件に応じた多様な道筋がネットゼロという共通目標につながる」という文言のもと、エネルギー転換には各国の事情をふまえた多様な道筋があるという議長国である日本の考え方が共通認識として合意されました。

エネルギー転換には多様な道筋があるにせよ、その道筋を辿り確実に歩を進めるためには社会によるエネルギーの利活用のあり方を抜本的に変える技術のイノベーションが不可欠です。再生可能エネルギー、蓄電、水電解、水素/アンモニア/合成燃料生成・運搬、炭素回収・貯留といった技術を、社会実装としてその先の普及拡大に向けて、経済効率性、環境負荷、安全性などの観点から、その練度を別次元に高めていかねばなりません。

さらに、こうした再生可能エネルギー発電や蓄電といった技術が社会に組み込まれる前提には、クリティカルマテリアルなどその設備製造のための原料の安定確保があります。今から50年程前に起こった石油危機、そして直近のロシアによるウクライナ侵攻のなかでの化石燃料確保を通じて学んできた通り、エネルギー転換のなかでエネルギー安全保障が決しておざなりとはなってはいけません。

一方、脱炭素エネルギーだけではアジアの新興国などの旺盛なエネルギー需要を賄うには限界があり、化石燃料を主体とする既存のエネルギーもないがしろにはできません。そのなかでもネットゼロに近づくためには、化石燃料使用時に排出されるCO₂など温室効果ガスを吸収するネガティブエミッション技術やクレジットによるオフセットという方策を順次取り入れることが肝要です。

このような課題認識に基づき、今回のシンポジウムでは、次の3点を切り口に多様な国籍・バックグラウンドを持つ専門家との議論を通じて、エネルギー転換への多様な道筋を実現するための視座を国内外に発信してまいります。

- エネルギー転換を可能なものとする技術
- クリティカルマテリアルの持続的な供給・利用
- ネガティブエミッション技術・カーボンオフセットの活用

1. 開催日時：2024年4月19日（金）10:00～16:35 （日本標準時（JST））

2. 開催方法：ハイブリッド形式：

実会場（グランドプリンスホテル高輪プリンスルーム（東京都港区高輪3-13-1））

オンライン（ソフト:ZOOM）

3. 主催：一般財団法人アジア太平洋エネルギー研究センター、一般財団法人日本エネルギー経済研究所

4. プログラム

10:00-10:05	開会挨拶 寺澤達也（日本エネルギー経済研究所 理事長）
10:05-11:35	Session 1: エネルギー転換を可能なものとする技術 Technology enablers for energy transition strategy
講演 10:05-10:50 パネルディスカッション 10:50-11:35	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー転換を可能なものとする技術開発・投資の加速化はいかに行われるべきか？ ● エネルギー転換に必要な技術のスケールアップのため、企業・政府などにはどんな役割が求められているか？
司会	坂本 敏幸（日本エネルギー経済研究所理事 環境ユニット担任）
講演・ パネリスト	有識者（欧州） 有識者（米国） 有識者（日本）
11:35-13:00	ランチブレイク
13:00-14:30	Session 2: クリティカルマテリアルの持続的な供給・利用 Sustainable supplies and use of critical materials for clean technologies
講演 13:00-13:45 パネルディスカッション 13:45-14:30	<ul style="list-style-type: none"> ● クリティカルマテリアルのサプライチェーンの強化をいかにして進めていくべきか？ ● カーボンニュートラルに向けたクリティカルマテリアルの持続的かつ効率的な利用のために、どのような環境整備が必要か？
司会	Glen Sweetnam（アジア太平洋エネルギー研究センター副所長）
講演・ パネリスト	有識者（欧州） 有識者（MENA） 有識者（日本）
14:30-15:00	コーヒーブレイク
15:00-16:30	Session 3: ネガティブエミッション技術・カーボンオフセットの活用 Deployment of negative emission technology and carbon offset scheme
講演 15:00-15:45 パネルディスカッション 15:45-16:30	<ul style="list-style-type: none"> ● ネガティブエミッション技術・カーボンオフセットの普及拡大のための阻害要因は何か？ ● ネガティブエミッションやカーボンオフセットに係る社会の理解促進のための課題は何か？
司会	小林良和（日本エネルギー経済研究所研究戦略ユニット担任補佐兼研究戦略 GM）
講演・ パネリスト	有識者（米国） 有識者（カナダ） 有識者（日本）
16:30-16:35	閉会挨拶 入江 一友（アジア太平洋エネルギー研究センター 代表理事・所長）

※ プログラムは変更となる可能性がございます。変更があった場合は、ホームページ上でご案内差し上げます。

5. 使用言語：英語／日本語（同時通訳）
6. 資料：HP 掲載予定（英語のみ）
7. 参加対象：賛助会員
8. 参加費：無料
9. 参加登録開始予定：2024年3月下旬

以上

お問い合わせ先：

一般財団法人日本エネルギー経済研究所
研究戦略ユニット 企画・広報グループ

E-mail：ieej-mail@tky.ieej.or.jp